

山口県PTA連合会広報紙

おやごころ

<http://www.yamaguchipta.jp/>



第118号



発行年月日: 令和2年11月11日 発行: 山口県PTA連合会広報委員会



中止するのは簡単、
コロナ禍だからこそ出来る事を

令和2年8月22・23日の一泊二日、光市立島田中学校で行われた「地域ぐるみの防災キャンプ推進事業」。島田中学校には四小一中の教員・PTA・地域で組織される「島田川協育ネット」が存在。その組織を実行委員会の核として同キャンプを運営。当日はコロナ禍で当初の計画と比べ大幅変更を余儀なくされ、度重なる協議を経て実施された。生徒と地域の方・教員含め120名を超える支援の元、徹底した感染予防対策の上で行われた。

「このコロナ禍で本当に実施するのか」、「中止にすべきではないのか」何度も何度も飛び交った言葉だ。

予期せぬ新型ウィルスの世界的大流行で、様々な行事やイベントで同様の言葉が世の中を席巻したに違いない。防災キャンプ実行委員会や20回を超える会議の中で何度も何度も議論された。

「当初の計画と比べ大幅な内容変更を余儀なくされる中で、何度中止が頭を過ぎりました」と語るのは校長だった。

その度に、生徒への想いが溢れ、「出来ない理由を並べて止めるより出来る理由を考えて実行するんだ」と。

島田中学校を支える島田川協育ネットの田

中会長の言葉が背中を押し、度重なる協議を経て「実施」を決めた。こんな時だからこそ力と知恵を合わせなければいけない。二年前の豪雨災害で避難所となり生活した地域住民が、十分な設備も無い中真夏の体育館で数日を過ごす様子を、炊き出しを手伝った当時の子どもたちが感じた「自分たちが地域に出来る事は限られている事」。

仮にコロナ禍で大きな災害が起これたら、
どうするのか。

「出来ない」ではなく「今だから出来る事」を、地域や学校の生徒への思いが生徒たちの心に火をつけた。

消毒・換気・入場管理体制・数十枚にも及ぶ避難対応マニュアルの作成など関係者が徹底的に作り込んだ。島田中学校独自の避難所

開設対応マニュアルも今回の成果物の一つ。

【光市立島田中学校】

最大の成果は「生徒たちの意識の向上」だろう。

「泊二日の防災キャンプを通して、近未来の防災に欠かせない『ドローンの操縦体験』学校の備品を一番よく知る生徒達による『快適な避難所作り』「防災食・防災入浴・避難所での宿泊体験」を通して生徒が感じた「生徒の意識の向上」が最

大の成果だったと思う
防災キャンプ最後に光
市教育長・四小一中の
学校運営協議会・PT
A会長・児童生徒を交
えての「島田川っ子サ
ミット」で生徒たちに

よる実践発表と提言の中で生徒から「二年前の豪雨災害で小学生と炊き出しの手伝いを通して感じた事、学校の設備を使いココナ対策を踏まえた快適な避難所作りなら自分達にも地域の役に立てる事、

五年後・十年後、自分達が中心になって地域の防災を担う事、ICTを活用した未来の防災に対応出来る力を養う必要がある事、何より普段からの地域とのつながりが有事の際の

命綱になる事、普段から地域に支えて貰っている事への感謝」が発せられると会場中が胸を熱くした。

★POINT★

【背景】 2年前の豪雨災害避難所の経験を活かして実施。当初は全校生徒で実施予定

【工夫点】・全校→生徒会のみへ変更
・実践発表を生徒・児童へ共有する形をとる
・感染対策を講じた避難所作りを設計
・小中の連携や共有強化

りも今だからこそ出来る事を考える、子どもたちの成長の為なら労を惜しまない、地域PTA活動が有る限り、子どもたちにはきつと何倍にも伝わり、正解や道筋が無い中で試行錯誤、奮闘する大人たち



の背中そ、親が子に魅けるべき背
中なので
はないだ
ろうか。
PTA
である前



て子どもに親として子どもたちにとってある意味「もったいなく、親バカで良いの」

にそうであつた様に。
(文 佐々木淳志)

▲最終行程として光市教育長も招いての「島田川っ子サミット」で防災キャンプの実践発表と提言

コロナ禍でも子どもたちの為に出来ることがある!! みんなで考え実行する PTA

コロナ禍で県内の多くの学校が体育祭・運動会・文化祭や修学旅行や学校行事・PTA活動などが従来通り行えず、子どもたちは様々な制限の中で学校生活を送っています。そんな中、「子どもたちの為に」と感染予防対策を取りながら「今出来ること、今だからこそ出来ること」を皆で話し合い、前例が無い状況下だからこそ、試行錯誤の中で活動しているPTA活動を紹介します。「これなら出来るかもしれない」、その積み重ねがこれからのPTAの鍵の一つになれば幸いです。

★コロナに負けない PTA 活動事例募集▶▶▶

【投稿方法】
「学校名」「PTA 活動名」「感染対策内容」「実施内容（活動背景や工夫点）」を明記の上、山口県 PTA 連合会事務局までメールで投稿ください。おやごころ・県 PTAHP で紹介。可能なら「写真」「実施要綱」を添付ください。



【宇部市立楠中学校】 運動会と文化祭の融合

コロナ禍で主要な学校行事が次々と中止に追い込まれる中、生徒会執行部の生徒たちが立ち上がりました。校長室に出向いて直談判を行い、「運動会と文化祭を融合させて半日で開催する」ことを提案。度重なる職員会議を経て、たくさんの支援の中、実現したその学校行事は、生徒会によって『楠中 Fun! Fun! Festival!』と命名され、9月19日にグラウンドと体育館で開催されました。全校生徒が生き生きと躍動する姿は教員・保護者にとって何ものにも代え難い、感動的な宝物になりました。



★POINT★

【背景】コロナ禍で「3密」を避ける為、通常の学校行事が次々と自粛・中止に

【工夫点】コロナ感染対策として「調理・昼食を避ける」為、半日に短縮。
グラウンド・体育館の同時開催にすることで人数の分散を狙い密を避ける

【想いと対策の両輪】

生徒の自主性を大切にした上で、3密・感染予防対策をいかに「学校」「PTA」「地域」が連携し支える体制が重要

【宇部市立西宇部小学校】 40 周年企画「みんなに魔法をかける」

今年40周年を迎える西宇部小学校。記念イベントは当初、マジシャンの高重翔さんをお招きした500人規模のイベントを予定。コロナの影響で、開催が難しくなり、一度は中止を検討。しかしPTAが立ち上がり、学校と協力して「子どもたちだけでも40周年を心に残る記念の年にしてほしい」という私たちの思いから、1回の講演に参加する人数を減らして開催することに。高重さんにも快諾頂き、1日で3講演を開催。低学年、中学年、高学年、それぞれに合わせた内容で、とても素晴らしい内容のショーとなり、制限が多かった子どもたちの表情は「まるで魔法にかかった様なとびきりの笑顔」が溢れた。コロナ禍で諦めなければならないこともたくさんあるが、「PTAと学校が連携することで子どもたちにしてあげられることがたくさんある」と気づけたイベントとなった。



★POINT★

【工夫点】500人規模の一斉開催を約100名ずつの3回講演に密を避け、徹底した換気と消毒を実施。「どの様な形なら実現可能か」を中心にした協議を重ねた結果、たくさんの協力者が生まれたことで実現がより近づいた。

【想いと対策の両輪】

子どもたちへの想いが「前例・指標のない様式」への協力した協議が実を結びモチベーションになったのではないかな

【山口県 PTA 連合会】

山口県PTA連合会では、6月の定例総会を书面開催として今年度の取り組みをスタートしました。メンバーのエリアが広域のため、細心の注意を払いながらLINE WORKS・Zoomなども活用し定例会・理事会・専門委員会等の会議を行っています。

広報紙作り方研修会、山口県PTA研修大会山陽小野田大会は当初予定されていた集合形式での開催は中止となりましたが、紙面開催にするなど現状を踏まえてできることを進めています。子育て親育て研修会は、新しい生活様式を考慮して山口県教育会館にて開催予定です。

三行詩コンクール、標語コンクールは、スケジュールを変更しての募集となりましたが、例年以上のご応募をいただくことができました。多数のご応募ありがとうございました。



PTAと連携した家庭教育支援の充実

山口県PTA連合会では令和元年度から中学校区のPTAが主体となって連携・協働しながら「保護者同士の縦と横のつながりをつくり、就学前から学齢期を通した継続的な家庭教育支援の推進体制を構築する」ことを目的とした「PTAと連携した家庭教育支援」の取組を推進しています。令和元年度・令和2年度モデル校区の保護者や地域の思いや実情に応じて、学校行事と連動させた交流イベントや学校の余裕教室等を利用した日常的な活動を実施し、中学校区の幼保小中の保護者同士のつながりをつくるための効果的な家庭教育支援活動を実施しています。

【令和元年度モデル校区】

- 光市立浅江中学校区（浅江小・浅江中）
- 周南市立富田中学校区（富田東小・富田西小・富田中）
- 美祿市立大嶺中学校区（大嶺小・重安小・麦川小・豊田前小・大嶺中）
- 下関市立彦島中学校区（江浦小・角倉小・向井小・彦島中）
- 萩市立萩東中学校区（明倫小・椿東小・椿西小・萩東中）

【令和2年度モデル校区】

- 岩国市立川下中学校区（川下小・愛宕小・川下中）
- 柳井市立大畠中学校区（大畠小・大畠中）
- 山口市立白石中学校区（白石小・白石中）
- 宇部市立厚南中学校区（厚南小・西宇部小・厚南中）
- 山陽小野田市立厚陽中学校区（厚陽小・厚陽中）

令和2年度モデル校区『岩国市立川下中学校区』

川下中学校区には、「チームほっとちゃん」という強力な家庭教育支援チームがあり、ジャズコンサート、ケーキ作り、食育活動等いろいろな活動を地域・学校・保護者が一体となり取り組んできました。今年度は、PTAとより連携してコロナ禍でできることを模索しながら活動を進めています。

川下中学校では、7月21日人権研修会が開催され、「コロナウイルス感染症に関する差別的な言動等」について取り上げられ、より良い地域や社会を築くためには何が必要なのかについて講話や意見交換が行われました。今後、食育講演会、研修会「子どもの豊かな成長と家庭教育支援」～SSWからのアプローチ～、アンガーマネジメント研修会、あったかサロン、熟議を企画中。

愛宕小学校では、10月22日就学時健康診断にあわせて「子育てサロン」を開催。この日に間に合うように作られたエプロンを付けて1つのグループに1人ずつ先輩保護者が入ってトーク。マスク着用、1つおきの机などの対策をとり、手作りのカードを使って話題を提供。参加者同士熱心に情報交換されていました。

川下小学校も、10月29日に就学時健康診断にあわせて「子育てサロン」を開催。岩国市教育委員会生涯学習課とも連携し、すぐろくを活用した話題提供。在校生の保護者の方にも加わっていただき、保護者同士の情報交換で盛り上がりしました。



2020年2月現在の内容です。

山口県PTA連合会 会員のための保障制度

一度の加入で中学校卒業まで自動更新

小学生・中学生総合保障制度

こども総合保険・自転車総合保険

お子さまのケガや病気その他、個人賠償責任や持ち物など、さまざまな補償で備えます。

個人賠償責任補償

ケガの医療費実費補償（傷害医療費用）

ケガの補償（傷害補償）

熱中症補償

細菌性食中毒補償

学校管理下動産補償

育英費用補償

病気死亡見舞金

病気補償

※実際に補償される内容は、ご加入いただくプランによって異なります。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に各学校を通じてPTA会員全員に配付されます。

詳しくは、配布されたパンフレットでご確認いただくか、取扱代理店・扱者または制度引受保険会社にお問い合わせください。



各PTAが団体に加入

山口県PTA連合会安全互助会

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

〈PTA団体傷害保険〉

PTA行事の参加者※1のケガの補償

※1 参加者とは

- ① PTA会員（保護者・教職員）やその学校に通学する児童・生徒
- ② PTA会員の同居の親族
- ③ 事前にPTAより認められPTA活動に参加する方

〈PTA賠償責任保険〉

PTA活動の遂行に起因して発生した法律上の損害賠償金の補償※2

※2 PTA活動中に对人、対物事故が発生し、PTA、PTA役員が法律上の損害賠償責任を負った場合

制度引受保険会社

AIG損害保険株式会社

広島支店

〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082 (535) 6010

受付時間：午前9:00～午後5:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

取扱代理店・扱者

NOSCOインシュアランスサービス（株）

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 新八丁堀ビル5F
フリーダイヤル 0120-504-551

受付時間：午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

※この広告は保障制度の概要をご説明したものです。詳しくは、取扱代理店・扱者または制度引受保険会社にお問い合わせください。

【承認番号 D-004385 (2020-12)】